

第60回富山県中学校総合選手権大会開催チェックリスト

【大会役員・顧問用】

日本スポーツ協会ガイドライン参考

大会開催・実施時の感染防止策等チェックリスト

全般的な事項

- 感染防止のため主催者が実施すべき事項や参加者が遵守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（大会の受付場所等）に掲示すること
- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること
- 障がい者や高齢者など利用者の特性にも配慮すること
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者より提出を求めた書面について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存しておくこと（健康チェックシート）
- 大会後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針について、施設の立地する自治体の衛生部局とあらかじめ検討しておくこと

当日の参加受付時の対応

- 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること
- 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼び掛けること（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる）
- 人と人が対面する場所は、アクリル板、透明ビニールカーテンなどで遮蔽すること
- 参加者が距離を置いて並べるように目印の設置等を行うこと
- 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること
- 参加者から健康チェックシートの提出を求めること

大会参加者のへ対応

- マスク等の準備
- 参加者がマスクを準備しているか確認すること
- 参加の受付、着替え、表彰式等の競技を行っていない間については、マスクの着用を求めること（競技中のマスクの着用は参加者等の判断によるものとする）
- 競技の前後のミーティングにおいても、三つの密を避けること
- 会話時にマスクを着用するなどの感染対策に十分に配慮すること
- 熱中症防止の策をとること

大会主催者が準備すべき事項の対応

手洗い場所

- 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- 参加者にマイタオルの持参を求めること
- 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意すること

更衣室

- 更衣室は広さにはゆとりをもたせ、他の参加者と密になることを避けること
- 更衣室にゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者の数を制限する等の措置を講じること
- 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、イス等）については、こまめに消毒すること
- 室内は換気扇を常に回す、換気用の小窓をあける等、換気に配慮すること
- 更衣室を大会役員が使用する際は、入退室の前後に手洗いをする

洗面所（トイレ）

- トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバー等）については、こまめに消毒すること
- トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示すること
- トイレには石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
- 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること
- 布タオルや手指を乾燥させる設備について使用しない

その他

- 参加者が飲食物を手にする前に、手洗い、手指消毒を行うよう声を掛けること
- 観戦者も参加させる場合には、観戦者同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとること
- 大声での声援を送らないことや会話を控えること
- 会話をする場合にはマスクを着用すること等の留意事項を周知すること
- 競技を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
- 換気設備を適切に運転すること
- 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと
- ゴミは持ち帰らせること
- 熱中症防止に留意するように声を掛けること

第60回富山県中学校総合選手権大会開催チェックリスト

【生徒・保護者・観戦者用】

日本スポーツ協会ガイドライン参考

大会参加者が遵守すべき事項

- 健康チェックシートを必ず提出すること
- マスクを持参すること。(参加受付時や着替え時等の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること)
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 他の参加者、大会役員等との距離(できるだけ2m以上)を確保すること
- 競技中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 感染防止のために主催者が決めた指示に従うこと
- 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること
- 競技の前後のミーティングにおいても、三つの密を避けること
- 熱中症防止に留意すること

大会参加者が競技を行う際の留意点

- 十分な距離の確保
- 競技の種類に関わらず、競技をしていない間も含め、感染予防の観点から、周囲の人となるべく距離(できるだけ2m以上)を空けること
- 強度が高い競技の場合は、呼吸が激しくなるため、より一層距離を空けること
- 水泳時などでマスクをしていない場合には、十分な距離を空けるよう特に留意する必要があること。感染予防の観点からは、少なくとも2mの距離を空けること
- 競技中に、唾や痰をはくことは極力行わないこと
- タオルの共用はしないこと
- 飲食については、指定場所以外で行わず、周囲の人となるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること
- ゴミや飲みきれなかったスポーツドリンク等は持ち帰ること
- 水分補給に気を配ること

観戦を行う上での留意点(保護者等)

- 体調がよくない場合(例:発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合)は観戦しないこと
- マスクを持参すること
- 他の観戦者との距離(できるだけ2m以上)を確保すること
- 競技中に大きな声で会話、応援等をしないこと
- 競技者との接触は避けること
- 感染防止のために主催者が決めた指示に従うこと
- ゴミは持ち帰ること
- 熱中症防止に留意すること